

§ 42年度の地理学科(学部)講義題目

地理学概論	4	渡辺	地理学本質論と発達史
日本地誌 Ia	3	前 渡辺	日本の概観と北海道・九州の地誌
経済地理学	3	松井	日本・世界の農業経済地理
集落地理学	3	松井	集落と自然, 形態, 機能的結合など
日本地誌 II	3・4	前 松井	日本の農業地域
気候学 II	3・4	前 松井	高気圧, 低気圧, ケツペンの気候地域と植生
地理学特講	3	前 松井	那須野盆地の地誌
気候学 I	1	浅井	気候帯, 気候区の形成と小気候学, 応用気候学の要点
陸水・海洋学	3・4	後 浅井	海水の循環, 海洋誌, 陸水誌と応用的意義
外国地誌 I	2	浅井	ヨーロッパの地誌
地質学	2	浅海	岩石・鉱物の性質と分類, 地層の生成と地史
土壌学	3	前 浅海	土壌の生成, 分類, 分布に関する地理学的考察
自然地理学実験	3	浅海	地形, 土壌に関する実習
地理学演習 II	独書講読	3 浅海	ヘットナーの地誌, 最近の論文の輪読
地形学	2	式	侵蝕地形, 地形輪廻, 構造地形など
日本地誌 Ib	3	後 式	本州, 四国の地誌
地図学演習	2	式	地形図の計測, 地形判読, 分析の方法
写真地理学	3	後 式	空中写真, 写真測量の知識と判読など
地理学演習 I	英書講読	2 正井	James P.A. Geography of Man の講読
外国地誌 II	3・4	正井	アングロ・ラテン両アメリカの地誌
地理調査法	3	後 正井	野外, 文献調査の基礎的技術, 知識
地理学演習 III	3・4	全員	
交通地理学	3	後 有末	交通の概念, 機能発展, 交通論の生成
政治地理学	3・4	前 別枝	政治地理学の一般的問題と, 世界の具体例
地理学特講	3	後 保柳	中国本土の自然環境と人間生活

地理学特講	3後	村越	地質図学の概説と地下資源産業
気候学Ⅱ	3後	福井	熱帯・乾燥帯における自然環境
地理学特講	3前	幸田	工業立地論，日本工業地域の動向など
地図学	1前	岡崎	地図に関する基本的事項，地図学発達史
地理学特講	1後	岡崎	地形図・特殊図の読図及び図的表現について

§ 一般教育・教職課程

地学	1前	式	重力・地震・火山・岩石・地層・地史など地学的現象の概観
地理学	1前	斉藤	主要自然地域と文化地域の概観
社会科教育法	3前	大和田	地理教育法

§ 地理学巡検予定

将来1講座間当たり年間7日間合計21日間の巡検が計画されることになったが、本年度は過渡期なので下記のように実施される。

担当教室	期 間	場 所	学 年
松井 教官	10月	那 須 野	3年生
浅井 〃	9月	富士・白糸	1年生
浅海 〃	7月	磐梯・阿武隈	3年生
〃 〃	未定	未 定	2年生
式 〃	3月(1968)	未 定	3年生
正井 〃	未定	未 定	2年生

大学で、この度バスを入手したので、浅井先生の気候学巡検にはこのバスを利用して行われる。

§ 卒業論文

従来行われて来た指導教官による実地指導は、本年度から原則として行われなくなった。また卒論提出期限は従来12月24日であったが、地理学科の特殊性に鑑み今年度から提出日が1月17日に延期された。

氏 名	フィールドの場所	主 な 内 容	指 導 講 座
浅野 光子	常願寺川下流東岸地域	水稲単作地帯の売薬兼業農家	渡辺・式 地誌
犬飼 浩子	東京都下調布市・府中市・小金井市	発展過程と都市化	松井・正井 人文
小倉 晃子	山口県防府市南部	干拓地の地理学的研究	松井・正井 人文
小高 和子	埼玉県・荒川低地	水害との関連における荒川低地	渡辺・式 地誌

氏名	フィールドの場所	主な内容	指導講座
大沢 輝子	群馬県伊勢崎市	関東西北部の養蚕業	浅井・浅海 自然
久保田雅子	静岡県伊豆半島西海岸	漁村の地理学的研究	渡辺・式 地誌
栗原 尚子	東京都江戸川デルタ地帯	土地利用の変遷	渡辺・式 地誌
関口 敬子	栃木県益子町及びその付近	陶業	渡辺・式 地誌
田多井賢子	長野県南安曇郡安曇村及び奈川村	山村の経済地理 — 歴史的変遷 —	松井・正井 人文
玉城 恵子	千葉県房総半島南部	房州の花卉栽培	浅井・浅海 自然
塚本 詔子	山形県山形盆地北部	農業的土地利用	渡辺・式 地誌
西山 京子	静岡県駿東郡裾野町	工業参加によって生じた土地利用の変化	浅井・浅海 自然
松本 園子	静岡県浜松市	工業化・都市化にともなう変容	松井・正井 人文
三須千恵子	静岡県	農村の地域的性格	松井・正井 人文
宮本 洋子	長野県善光寺平	リンゴ栽培	浅井・浅海 自然
森 宏子	東京都南多摩郡多摩町・稲城町	農業における都市化の影響	松井・正井 人文
米重 正子	静岡県清水市南部	温室園芸	渡辺・式 地誌

§ 大 学 院

発足2年目を迎え、本年度は江橋晴子さん・橋本直子さん(本学出身)のほか外国人留学生として大韓民国ソウル師範大学出身の萱寿山さんの合計3名が入学し、大学院生は5名となった。本年度の開講科目は下記の通りである。

地誌学演習	渡辺	地誌研究及び地誌調査
地域特論	松井	基本地域の諸問題
地形誌特論	浅海	日本各地の地形面区分
地誌特論	式	地形と表層地質との関連
人文地理学演習	正井	比較都市地理学
文化地理学特論	別技	文化地理学の諸問題
地形学特論	岡山	日本の地形構造
経済地理学特論	幸田	工業の立地と地域構造
気候誌特論	福井	熱帯環境論
人文地理学特別研究	松井	

自然地理学特別研究 浅井 雨と水蒸気の気候学

地誌学特別研究 渡辺

§ 大学院学生の研究テーマは以下の通りである

修士コース2年生	指導担当講座	研究テーマ
馬場 由美子	人文地理学	集落形態及び集落立地の分析方法に関する写真地理学的研究
林原 陽子	地誌学	本邦における堆積段丘の分布及び生成に関する地形学的考察
修士コース1年生		
江橋 晴子	地誌学	植物の分布に関する地理学的研究
橋本 直子	自然地理学	所謂風土病に関する疾病地理学的研究

但し、修士コース1年生の研究テーマは、未だ正式に決定されたものではない。

§ 講座の体制

4月1日より法政大学教授浅井辰郎先生を自然地理学講座の教授としてお迎えした。昨年度に引き続き世界地誌のほか、気候学・陸水海洋学・大学院の特別研究を担当される。これで各講座とも教授1、助教授1の体制が確立した。また今年度から3講座とも実験講座となった。なお助手の岡崎セツ子さんは、3月31日退職し兼任講師として地図学を担当することになった。本学の卒業生が講義を担当するのはこれが最初である。岡崎さんの退職にともない、本年卒の山崎民子さんが教務補佐員に就任した。

浅海先生は昨年6月、東京大学より理学博士の学位を授与された。学位請求論文は、「日本の土壌分布に関する考察——地形面との対応——」である。

§ 関係教官学内役職

渡辺教官・文教育学部長(1965年10月～1967年9月)。評議員。教務委員。教育実習委員。図書選定委員。予算委員。紀要編集委員。付属学校運営委員。幼教運営委員。施設計画委員。大学院委員。資料室運営委員等

松井教官 地理学科主任。4年生補導委員。図書館運営委員。図書選定委員

浅井教官 1年生補導委員

浅海教官 1年生補導委員。学寮委員。建物委員

式教官 3年生補導委員。臨海学習施設準備委員。一般教育委員

正井教官 2年生補導委員。学生委員